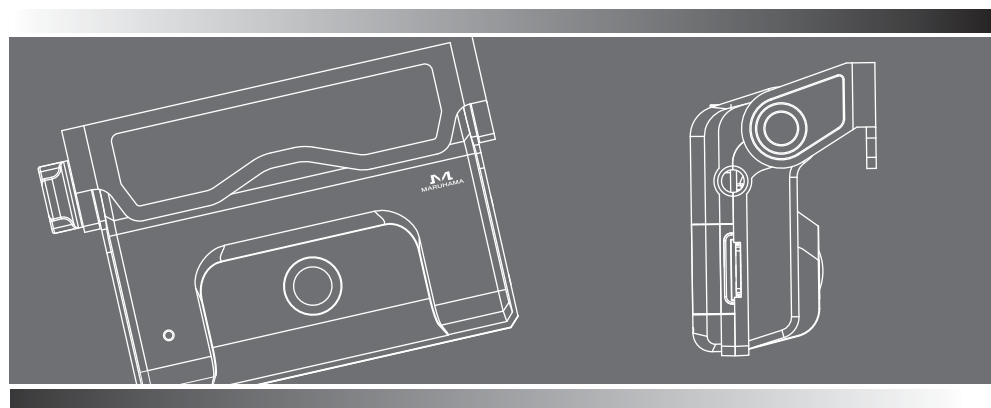


Road View Master

DR-969RV

取扱説明書



 MARUHAMA

ご使用前に

事故状況を証言する第三の目！

◆車両事故デジタル映像記録、衝突事故の状況を記録します！

- ・道路情報入手カメラ・ETC等は道路運送車両法・保安基準第29条の前面ガラス装着規制から除外指定商品となっています。(2007年2月28日現在)
- ※但し設置場所はフロントウインドウの上端から上下方向に1/5以内の場所に限ります。
- ・保証書は[購入日・販売店]などの記入を必ず確認してお受け取りください。
- ・ご使用前に取扱い説明書をよく読んで、正しく使用してください。また、お読みになった後も大切に保管してください。
- ・一定加速度衝撃以下での事故時には映像ブラックボックスデータが記録されない場合もあるので、この点を注意してください。
- ・万が一未撮影のときの責任は負いかねます。
- ・記録された映像は事故検証の補助的なものです。証拠としての効力があるとは限りません。
- ・不適切な使用及び装着・改造による故障、事故について弊社は責任を負いかねます。
- ・本製品は安全運転のため補助する車両用便宜装置です。事故については弊社は責任を負いません。
- ・正しく取り付けないと正常な映像での撮影ができません。
- ・本製品はWindowsXP/Vistaがインストールされたパソコンでのみ動作します。

目次

製品案内

- 1. 安全についてのお願いとご注意 3
- 2. 製品の構成 5
- 3. 各部の名称 6
- 4. SD カードの着脱方法 8
- 5. 映像ブラックボックス機能 10

設置方法 12

使用方法

- 1. ソフトのインストール 16
- 2. 本体の設定 24
- 3. 衝撃発生から映像確認までの流れ 26
- 4. データベース機能 36
- 5. 運行記録 42
- 6. 解析例 46

故障だと思う前に 48

主な仕様 49






保証規定・保証書

製品案内〔1. 安全についてのお願いとご注意〕

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では最初に、もしお守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある事項を、“警告”として掲げています。次に、もしお守りいただかないと、使用者がけがをしたり、製品の故障や損傷につながるおそれがある事項を“注意”として掲げています。また、“機能上の制約”についても説明しています。



警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)

-  ■ 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。
また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。
-  ■ 本機を濡らさないでください。
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。
-  ■ 車を運転中に本機を操作しないでください。
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心掛けてください。
-  ■ ケースは絶対にあけないでください。
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■ 発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。
これらの異常を検出した場合には、直ちに使用を中止して、エンジンを切り、電源コードを外してください。そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身の修理は絶対に避けてください。

注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)

-  ■ 衝撃や強い振動を加えないでください。
衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■ 高温時の取り扱いにご注意ください。
本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる際には、十分ご注意ください。

製品案内〔1. 安全についてのお願いとご注意〕



- ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、ケースが変形するおそれがあります。

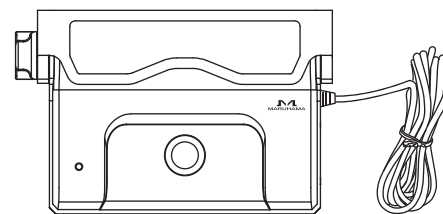
機能上の制約



- 製品のレンズの前に異物質またはステッカーなどが視野を遮る場合、正常な動作ができなくなる場合がありますので、装着前面部は常にきれいにしておいてください。また、製品周囲に物を置かないでください。
- 初めに設置したとき、正常に作動しても位置がずれると誤作動の原因になります。取り付けるときはしっかり装着してください。
- 長い期間使用した場合や非舗装道走行など、はげしい振動等で本体の角度が変わり、誤作動が発生することもあります。
- 本製品には RTC(内蔵時計)搭載しています。内蔵した RTCは GPS 時間情報によって自動的に設定されます。
- バックアップ電池は、使用状況にもよりますが、約 10 年が寿命です。交換を希望される場合は、本体をお買い上げの販売店にお持ちになり、ご依頼ください。
- 一定加速度衝撃以下での事故時には映像ブラックボックスデータが記録されない場合もあるので、この点に注意してください。
- 事故時に本体の電源が切れた場合でもバックアップ電池で約 1 秒間作動します。
- 本製品のハードウェア・ソフトウェアに対する全ての権利は製造社が保有しています。これらの無断複製、加工配布時には民事上損害賠償はもちろん、私的財産権保護管理法律により刑事処罰を受けることもあります。
- 本製品は衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。以下の場合など衝撃が検知できず映像が記録できないことがあります。
 - ①衝撃が弱く本製品が検知するように設定された G センサー感度に満たない場合。
 - ②本製品の本体が固定されていないか、取り付け後の角度調整が行われていないなど、本製品の取付状態に問題がある場合。
 - ③大きな事故や水没などで本機が損傷を受けた場合。
- 衝撃を感じても映像が記録されなかった場合や記録されたデータが破損していた場合による損害、本製品の故障や本製品を使用することによって生じた損害については弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED式信号機は高速で点滅している為、記録映像では、点滅したり消灯しているように見える場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の状況から判断してください。LED式信号が映らない件については 弊社は一切責任を負いません。

製品案内〔2. 製品の構成〕

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

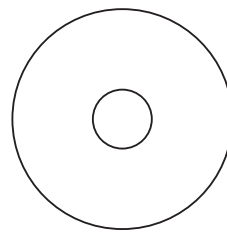


●本体・・・1 台



※本体に装着されています。

●miniSD メモリーカード・・・1 個

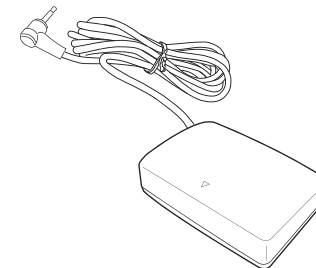


●CD-ROM (解析ソフト)・・・1 枚



●ケーブルマウント・・・1 セット

●取扱説明書 (本冊子)・・・1 冊



●GPS アンテナ・・・1 台



●miniSD メモリーカードアダプタ・・・1 個



●カードキー・・・1 個

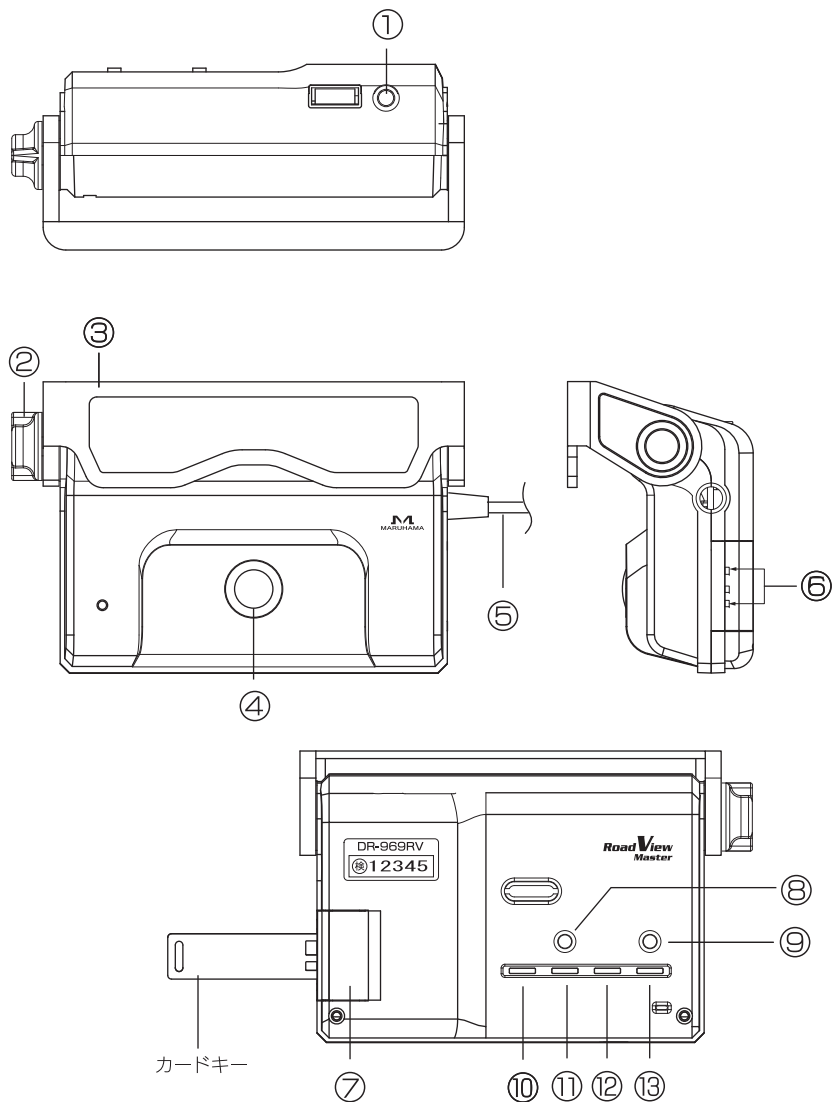


●予備両面テープ・・・1 枚



●GPS アンテナ固定テープ・・・1 枚

製品案内〔3.各部の名称〕



製品案内〔3.各部の名称〕

①GPS アンテナ接続部・・・GPS アンテナを接続します。突起と溝を合わせます。

②固定ねじ

③取付ステー・・・両面テープで固定します。

④カメラレンズ

⑤電源コード

⑥カードキー挿入穴・・・キーの突起を穴に合わせ、カードカバーを開けます。

⑦カード・カバー

⑧MUTE ボタン・・・ボタン押す度に MUTE の ON/OFF を設定します。

●MUTE ON 設定時 フォー音が“ピー”と鳴ります。

警告音が鳴りません。

●MUTE OFF 設定時 フォー音が“ピ”と鳴ります。

警告音が鳴ります。

⑨REC ボタン・・・ボタンを押して手動で映像を記録できます。

●ボタン押した後 READY ランプが消えてフォー音が“ピピ”と鳴り、

記録の保存が始まります。

●記録の保存が完了すると READY ランプが点灯し、フォー音が“ピ”と鳴ります。

※バックアップメモリ保存の場合は READY ランプは点滅します。

⑩POWER ランプ・・・電源 (DC12V/24V) で正常に作動中は点灯。

⑪SD/CARD ランプ・・・SD カードが正常に挿入されていると点灯。

⑫GPS ランプ・・・GPS 測位が完了すると点灯。

※GPS 測位に時間がかかる場合があります。そのような場合はアンテナの取付位置を変えるか、天空の開いている場所に移動して、GPS 電波を受信しやすいようにしてください。

⑬READY ランプ・・・製品が正常に作動していると点灯。

撮影禁止機能について

・⑧の MUTE ボタンを 2 秒以上長押しすると、以後撮影を禁止します。

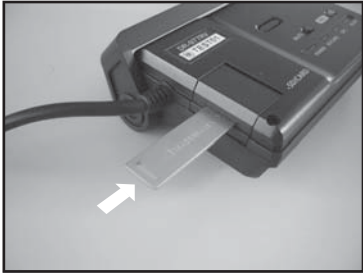
動作中は POWER ランプが点滅します。

・撮影を再開するには再度ボタンを長押ししてください。

・撮影禁止機能を使用するとプログラムソフトでダウンロードボタンを押したとき、“撮影機能を使用しました”とメッセージが表示されます。

製品案内〔4.SDカードの着脱方法〕

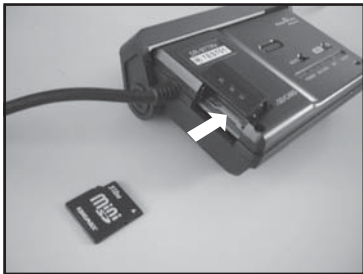
- (1) カードキーの突起をカバーの穴に合わせ差し込みます。



- (2) カードキーを差し込みながらカバーを開けます。



- (3) miniSDカードを写真の向きで挿入します。



- (4) miniSDカードを“カチッ”と音がするまで挿入します。



※取り出す場合は同様に“カチッ”と音がするまでカードを押し込んでから取り出します。

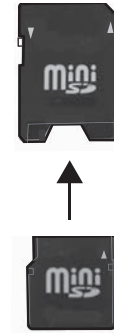
※出荷時に miniSD カードが本体に挿入されています。

- (5) カバーを閉じます。



製品案内〔4.SDカードの着脱方法〕

- miniSD メモリーカードアダプタに装着するには・・・



- ・パソコンに挿入する場合は付属のアダプタに図のように挿入してください。
- また、アダプタの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にするとデータの消去や保存ができなくなり、データの誤消去を防ぐことができます。

ご注意

- ・ miniSDカードを装着したり取り出すとき、飛び出すことがありますので注意してください。
- ・ miniSDカードを斜めに無理に装着しないでください。破損の原因となります。
- ・ miniSDカードを入れる場合・・・挿入してからエンジンをかけてください。
- ・ miniSDカードを抜く場合・・・エンジンを切ってから抜いてください。
- ・ miniSD カードは個々のカメラ本体の情報が書き込まれますので、再挿入の際、必ず取り出したカメラ本体に挿入してください。

製品案内〔5. 映像ブラックボックス機能〕

車を使用中、接触事故や衝突事故が発生すると事故発生前後の映像と情報を記録する機能です。本製品は運転中に事故が起こるとこれを自動で感知して映像と加速度情報、GPS 情報などを保存します。尚、REC ボタンでの手動保存も可能です。

事故映像は miniSD カードに保存します。出荷時では 20 件の保存設定になっています。

[事故発生前の保存時間の設定]

出荷時の設定では事故前 14 秒、事故後 6 秒の映像を保存します。

ブラックボックス画面の本体設定で事故前の保存時間を 24 秒、34 秒と変更することができます。

[バックアップ電源搭載]

大きな衝撃により車の電源が切れた場合でも内蔵のバックアップ電源で記録ができます。

[内蔵フラッシュメモリーでの緊急保存機能]

万一、miniSD カードが未挿入の場合でも、1 件に限り内蔵のフラッシュメモリーに保存することができます。この場合の保存時間は設定に関係なく事故前 14 秒、事故後 6 秒です。miniSD カードを後で入れると保存データは miniSD カードに自動的に保存されます。

製品案内〔5. 映像ブラックボックス機能〕

[映像及び車データ分析機能]

映像ブラックボックスシミュレーションプログラムであるマネージャーを利用して事故当時の映像とデータを分析することができます。

[加速度と衝撃量]

次のような条件の場合に加速度の値によって事故と判断して映像とデータが保存されます。

加速度は $1G=9.8m/sec^2$ で定義して、

衝撃量は 0.7 秒間の変化量（最大値－最小値）を意味します。

[映像ブラックボックス]

条件 1：X 軸の衝撃量が設定値以上のとき

条件 2：Y 軸の衝撃量が設定値以上のとき

条件 3：Z 軸の衝撃量が設定値以上のとき

初期設定値は 0.5G です。設定値は 0.1 から 1.0G まで調整可能です。

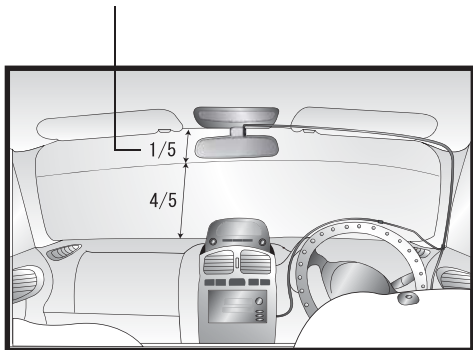
ブラックボックス画面の本体設定で設定します。

設置方法

1. 取付上のご注意

- 車を平らで安全な場所に駐車して取付をしてください。
- 配線後のコードが運転の支障にならないようにコードクリップで固定します。
- ルームミラー裏のフロントガラスに取り付けてください。
但し、道路運送車両法・保安基準に適合するように取り付けてください。

フロントウィンドウの上端から上下方向に 1/5 以内の場所に取り付けてください。



- 前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。製品の基本装着位置は中央です。
ルームミラーは運転者または同乗者が操作することがあるため、ルームミラーを操作する時に邪魔にならない位置に取り付けてください。



設置方法

- 取り付ける前にガラスをきれいに拭いてください。
ルームミラーは運転者または同乗者が操作することがあるため、ルームミラーを操作する時に邪魔にならない位置に取り付けてください。
- ガラス面に両面テープで取付後、再度両面テープが密着しているかを確認してください。
- 雨天時に取り付ける場合にはガラス面を十分に乾燥させてから貼り付けてください。
- 両面テープが密着していないと本体の落下の原因となります。
- デジタルタコグラフ及びカーナビゲーションに障害を与える場合があります。既存に設置されているGPS搭載機器デジタルタコグラフ、ナビゲーション等の一部の機種に障害が発生した場合はGPS搭載機器のGPSアンテナをできるだけDR-969RV本体から離すようにしてください。

設置方法

2. 取り付け方法例 (GPS アンテナ)

- ① GPS アンテナを車のダッシュボード等 GPS 電波を受信しやすい場所に設置してください。
- ② 付属の GPS アンテナ固定テープでできるだけ平らな面に取り付けてください。
- ③ アンテナのプラグを本体のアンテナ接続端子に差し込んでください。

ご注意

- DR-969RVが起動してからGPSの測位が完了するまで時間がかかる場合があります。また、走行中にも受信しにくい場合があります。
(高速道路の高架下等はGPSが受信しにくい場所にあたります)
- コード長は約3mです。
- GPSアンテナの抜き差しをする場合は本体の電源をOFFにしてください。

設置方法

3. 取り付け方法例 (本体)

- ① イグニッションキーは OFF の位置にします。
- ② 赤コード (+) を車のイグニッションキーで、ON/OFF されているアクセサリ回路へ接続します。
- ③ 黒コード (-) をバッテリーの (-) 端子か、ボデーの金属部へ接続します。
- ④ 本体取り付けステーの両面テープを剥がします。
- ⑤ 車両の中央部に合わせます。



- ⑥ 左右が水平になるようにガラスに密着させます。



- ⑦ 本体が垂直になるように前後角度を調節します。



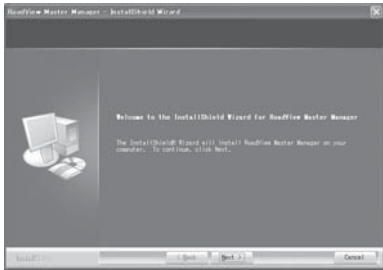
- ⑧ 取り付けねじを時計方向に回して本体をしっかりと固定してください。
- ⑨ コードは付属のケーブルマウントを使用して配線してください。

使用方法〔1. ソフトのインストール〕

最初に付属の CD-ROM のソフトをインストールします。

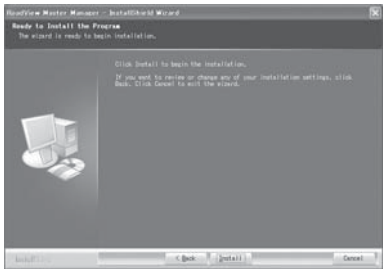
1. プログラムソフトのインストール

- (1) CD-ROM をパソコンにセットします。下の画面が表示されますので“Next” ボタンをクリックします。

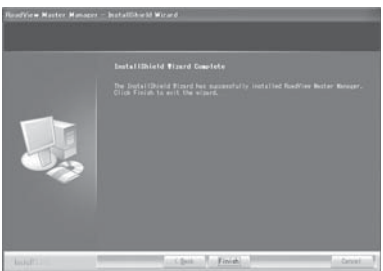


※パソコンの動作環境：
WindowsXP/Vista

- (2) 下の画面が表示されます。“Install” ボタンをクリックしてインストールを開始します。



- (3) インストールが完了すると次の画面が出てきます。“Finish” ボタンをクリックしてインストールを終了します。(RoadView Master Manager の完了)



使用方法〔1. ソフトのインストール 〕

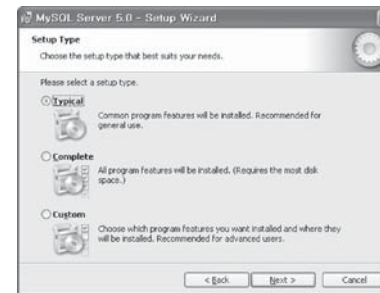
2. データベース管理機能のインストール (1)

RoadView Master Manager はデータベース管理者機能が含まれています。データベースには使用者情報、データ情報が収録されています。RoadView Master Manager はデータベースをインストールしなければデータベース機能を使うことができませんが、映像ダウンロード及び Data View Player は使うことができます。

- (1) パソコンで“スタート” → “すべてのプログラム” → “RoadView Master Manager” → “Install Database” の順でクリックします。
- (2) 下のような画面が出るとインストールを始めます。“Next” ボタンをクリックします。

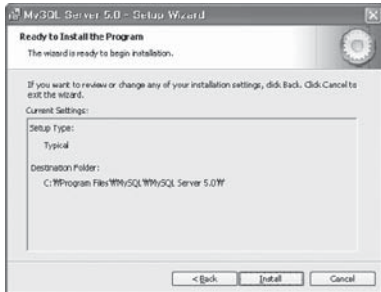


- (3) “Next” ボタンをクリックします。

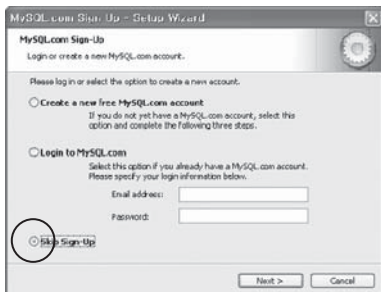


使用方法〔1. ソフトのインストール〕

(4) “Install” ボタンをクリックします。



(5) E-mail入力画面が出ます。Skip Sign-upを選択し、“Next”ボタンをクリックします。



(6) 1次データベースのインストールが完了すれば下のような画面がでます。“Finish”ボタンをクリックしてください。



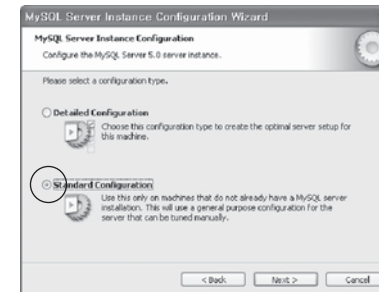
使用方法〔1. ソフトのインストール〕

3. データベース管理機能のインストール (2)

(1) “Next” ボタンをクリックします。



(2) Standard Configurationを選択し“Next”ボタンをクリックします。



(3) Install As Windows Service がチェックされているのを確認し“Next”ボタンをクリックします。

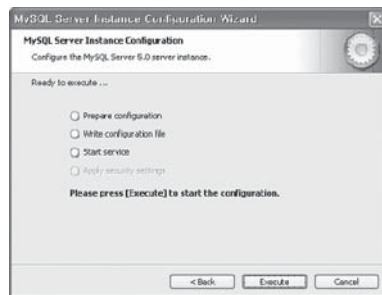


使用方法〔1. ソフトのインストール〕

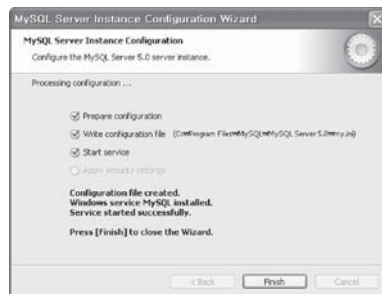
(4) Modify Security Settings のチェックを解除し、“Next” ボタンをクリックします。



(5) “Execute” ボタンをクリックします。



(6) “Finish” ボタンをクリックするとデータベースのインストールが完了します。



使用方法〔1. ソフトのインストール〕

ご注意

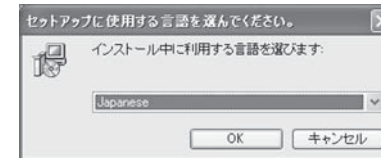
MySQL データベースソフトウェアを削除した後、再インストールする場合 Apply Security Setting 部分のエラーが発生することがあります。このような場合には MySQL があるフォルダ “C:\Program Files\MySQL” を削除し、再インストールしてください。

4. 動画コーデック・プログラムのインストール（動画を Windows Media Player で再生したい場合）

RoadView Master Manager でイメージデータファイルを動画ファイル (avi file) に変換ができます。動画ファイルは Windows Media Player で再生が可能です。

Codec は次のような手順でインストールしてください。

- (1) パソコンで “スタート” → “すべてのプログラム” → “Roadview Master Manager” → “Install codec” の順でクリックします。
- (2) 下のようなダイアログボックスが出れば OK ボタンをクリックしてください。



- (3) “次へ (N)” ボタンをクリックしてください。

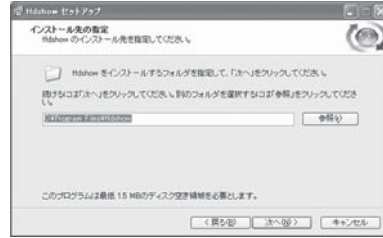


使用方法〔1. ソフトのインストール〕

(4)“同意する”を選択し、“次へ (N)” ボタンをクリックします。



(5)“次へ (N)” ボタンをクリックします。



(6)“次へ (N)” ボタンをクリックします。



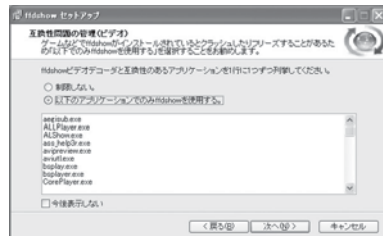
(7)“次へ (N)” ボタンをクリックします。



(8)“次へ (N)” ボタンをクリックします。



(9)“次へ (N)” ボタンをクリックします。



使用方法〔1. ソフトのインストール〕

(10)“次へ (N)” ボタンをクリックします。



(11)“次へ (N)” ボタンをクリックします。



(12)“インストール (I)” ボタンをクリックします。



(13)インストールが完了すると次の画面が出てきます。“完了 (F)” ボタンをクリックして終了します。



使用方法〔2. 本体の設定〕

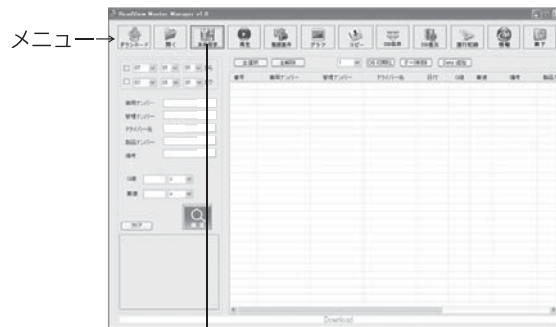
最初に本体の設定をします。

1. 製品から miniSD カードを取り出し、パソコンに装着します。

2. プログラムソフトを開きます。

デスクトップに作成されたロードビューマスターのショートカットアイコンから開くかパソコンの“スタート”→“すべてのプログラム”→“Roadview Master Manager”の順でクリックします。

3. 映像ブラックボックスのメイン画面が出ます。



(1)メニューの本体設定ボタンをクリックします。
設定画面が表示されます。



使用方法〔2. 本体の設定〕

①衝撃感度の設定

0.1G から 1.0G まで 0.01G 単位で調節が可能です。

②記録条件の設定

希望の撮影時間を選択します。

※最大記録件数は任意での設定が可能です。

最大記録件数の変更により運行記録可能時間も増減します。

③miniSD カードの容量

記録時間と最大記録件数を変更することにより

運行記録時間が変動します。

※出荷時の『記録条件の設定』は (前 14 秒 / 後 6 秒)

最大記録件数 20 件となっており、運行記録可能時間が 343 時間となっています。

④製品番号

本体に記載されている製品番号が自動的に表示されます。

⑤車両ナンバー

車のナンバーを入力してください。

(全角 15 文字までの入力が可能)

⑥管理ナンバー

管理ナンバー等を入力してください。

(全角 10 文字までの入力が可能)

⑦ドライバー名

ドライバー名を入力してください。

(全角 10 文字までの入力が可能)

(2) 設定が終了したら OK ボタンをクリックしてください。

使用方法〔3. 衝撃発生から映像確認までの流れ〕

- 1.miniSD カードを本体に差し込みます。
2. 車のエンジンをかけます。
3. ランプ点灯の確認をします。
⑩⑪⑫⑬のランプが全て点灯することを確認してください。

ご注意 ・システムを安定させる為、全てのランプが点灯するまでに約2分程度かかりますが故障ではありません。全てのランプが点灯する前に衝撃等が発生した場合、映像記録を保存しません。

4. 衝撃が発生すると映像を保存できる待機状態になります。



〈衝撃発生があると・・・〉

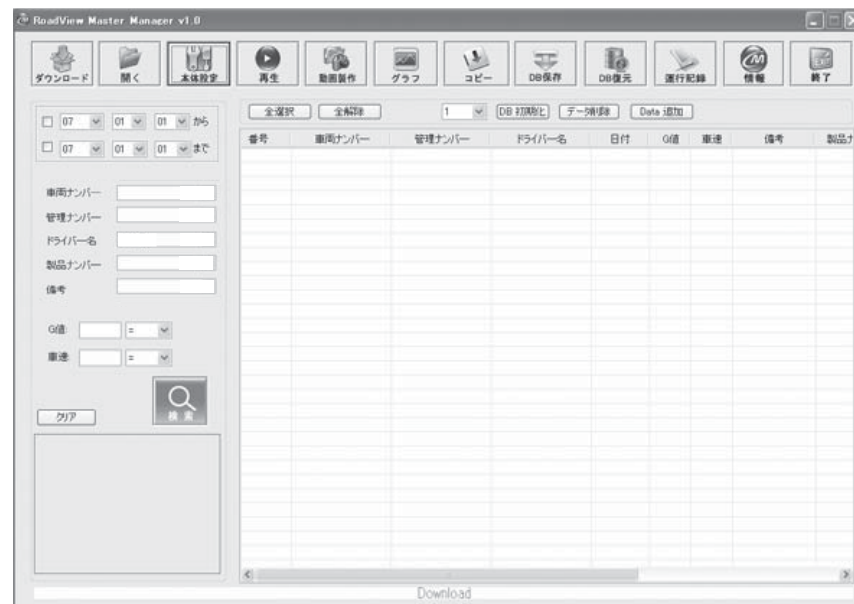
5. 映像 / 情報を自動保存します。
このときブザー音が“ピピ”と鳴り、⑬READY ランプが消灯します。
6. 記録の保存が完了するとブザー音が“ピ”と鳴り、READY ランプが点灯します。

メモ

- ・ロードビューマスターは車に与えられる衝撃により映像を記録します。
- ・映像記録加速度設定値は 0.1G から 1.0G までの範囲で調整可能です。初期設定は 0.5G です。
- ・衝撃発生前の記録時間は 14 秒、24 秒、34 秒の中から選択することができます。衝撃後の記録時間は 6 秒で固定です。
(ブラックボックス画面の本体設定で選択します：P24 参照)

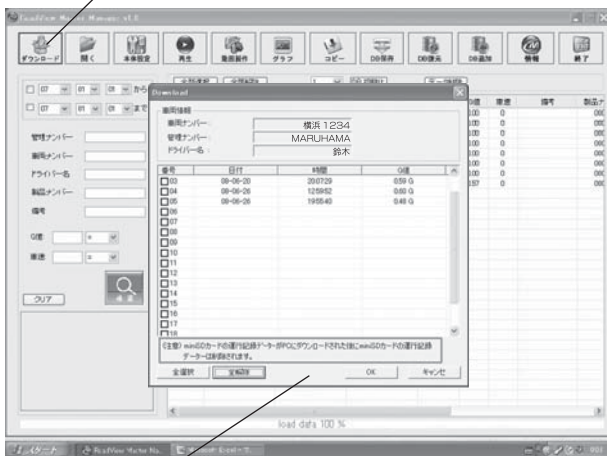
使用方法〔3. 衝撃発生から映像確認までの流れ〕

- 7.miniSD カードを本体から取り出します。
- 8.miniSD カードをアダプタに装着します。(P9 参照)
9. アダプタをパソコンに入れます。
10. プログラムソフトを開きます。
11. 映像ブラックボックスのメイン画面が出ます。



使用方法〔3. 衝撃発生から映像確認までの流れ〕

12. メニューボタンのダウンロードをクリックします。



①ダウンロード画面が出ます。

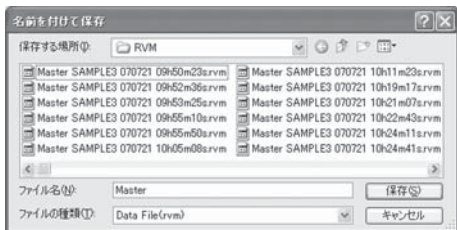
※ダウンロード完了後、miniSD カード内の運行記録データは削除されます。

※複数のパソコンにダウンロードした場合、最初のパソコンのみ運行記録データが保存され、2 台目以降には運行記録データは保存されません。

②保存したいデータにチェックを入れます。

③OK ボタンをクリックします。

④ファイル保存ウインドウが出ます。



使用方法〔3. 衝撃発生から映像確認までの流れ〕

⑤ファイル名を入力して“保存” ボタンをクリックします。

※miniSD カードの容量が足りない場合、次のようなメッセージが出ます。

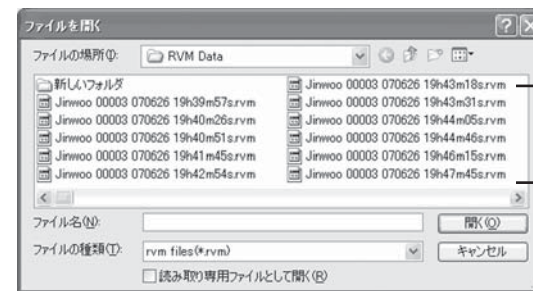
“miniSD カードの容量が足りません。運行記録を削除します”

※撮影禁止機能を設定すると“撮影機能を使用しました”とメッセージが出ます。

13. ファイルを開く

①メイン画面メニューの“開く” ボタンをクリックします。

“ファイルを開く” ウィンドウが出てきたら、ファイル名を選択して“開く” ボタンをクリックしてください。



②メイン画面メニューの“再生” ボタンをクリックしてください。

使用方法〔3. 衝撃発生から映像確認までの流れ〕








14. 再生画面が表示されます。

- ①再生ボタンで再生をします。
- ②保存された、速度情報、加速度情報
保存日付、時間を確認することができます。










使用方法〔3. 衝撃発生から映像確認までの流れ 〕

メニューアイコンの説明

	機能	説明
	データダウンロード	SDカードをパソコンに装着した後、ボタンを押すとデータをダウンロードすることができます。
	本体設定	SDカード使用者の情報と敏感度の設定をします。
	再生	選択ファイルを再生します。
	データバックアップ	データベースに保存されているデータをパソコンにバックアップします。
	データ復元	パソコンに保存されているデータを呼び出し、復元します。
	動画	選択ファイルを動画 (avi) に変換しウィンドウズ・メディアプレーヤーで見ることができます。
	データグラフ	選択ファイルの加速度データに対する情報を拡大して見ることができます。

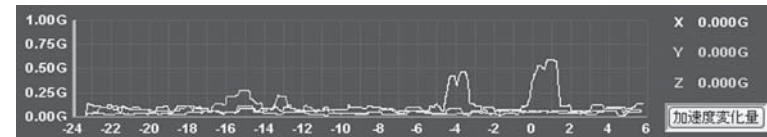
使用方法〔3 衝撃発生から映像確認までの流れ〕

ボタン	機能	説明
	コピー	他のパソコンで映像記録を確認する場合に使用します。
	データ追加	他のパソコンでダウンロードしたデータに情報を追加する機能。
	検索	データ検索画面の条件によりデータベースのデータを検索します。
		選択されたデータのみ削除します。
	プログラムバージョン	プログラムに対するバージョンを確認することができます。
	プログラム終了	プログラムを終了します。
	プリント	現在の画面をプリントします。

使用方法〔3. 衝撃発生から映像確認までの流れ〕

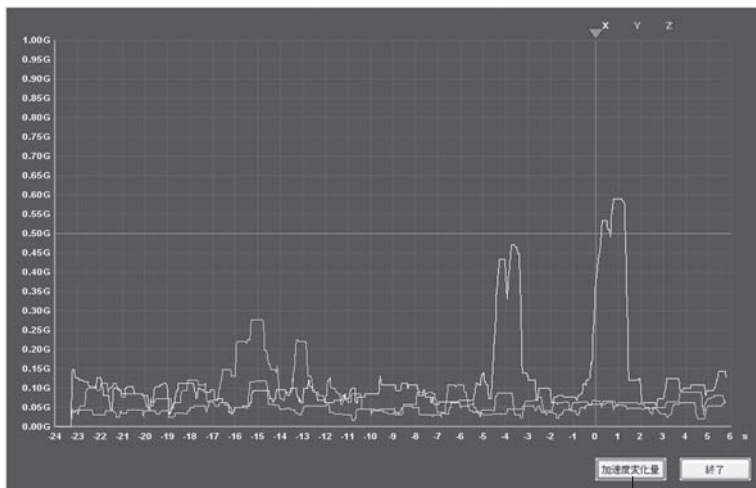
グラフ表示

加速度データと加速度変化量データ、速度データを詳細なグラフで表示する機能です。



再生画面で〔グラフ〕ボタンを押すと加速度変化量の詳細グラフが表示されます。

使用方法〔3. 衝撃発生から映像確認までの流れ〕



このボタンを押す度に加速度、速度の詳細グラフが表示されます。

使用方法〔3. 衝撃発生から映像確認までの流れ〕

コピー機能

SDカードにマネージャープログラムをコピーして他のパソコンでもロードビューマスターデータのダウンロードと再生ができるようにする機能です。次の手順で行ってください。

- (1)SDカードをパソコンに接続した後、アイコンの“コピー”ボタンをクリックします。
- (2)下の画面が出ればSDカードのドライブを選択した後、OKボタンをクリックします。



- (3)マイコンピュータのSDカード内の RoadView Master Manager がコピーされていることを確認した後、プログラムを開きます。
- (4)SDカード内のデータをダウンロードした後、Playボタンをクリックして記録映像を確認します。

使用方法〔4. データベース機能〕

1. 検索機能

データベースの情報の中で、ご希望の情報のみを検索することができます。複数条件を入力すれば絞り込んだ検索ができます。



使用方法〔4. データベース機能〕

(2)管理ナンバー、車両ナンバー、ドライバー名、製品ナンバー、備考での検索方法
検索したい項目を入力し、検索ボタンをクリックすれば、データベース情報画面に表示されます。

車両ナンバー	横浜 1234
管理ナンバー	MARUHAMA
ドライバー名	鈴木
製品ナンバー	*****
備考	

・備考はデータベース情報画面に直接入力すれば、検索画面で呼び出しができます。

(3)G 値、車速での検索方法

検索モードは4種類あります。

①(==) モード左側入力欄に数字を入力して検索ボタンをクリックすればその数値のみの情報が表示されます。

==	▼
以上	
未満	
-	

②(以上) 入力された数値以上の情報が表示されます。

③(未満) 入力された数値未満の情報が表示されます。

④(-) 範囲を指定した情報が表示されます。

範囲指定画面が出ますので入力してください。

G値: - ※例 0.5以上0.8以下の情報が表示されます。

(4) データベース初期化：データベース情報画面を元に戻す場合は、“DB 初期化” ボタンをクリックしてください。

(1) 保存日付での検索方法

日付範囲を入力したら
検索ボタンをクリック
すれば、データベース
情報画面に表示されます。
※入力欄横のチェックから
選択することもできます。

1 日の場合は上の行だけ入力します。

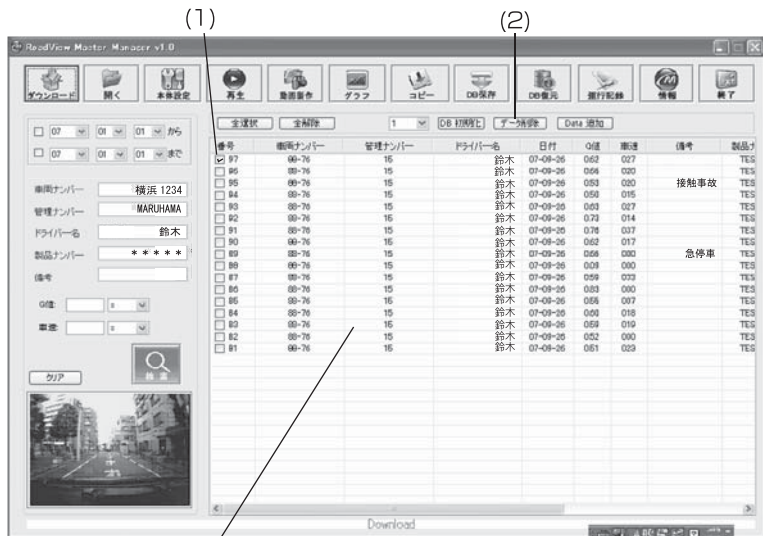
<input checked="" type="checkbox"/>	07	▼	01	▼	01	▼	から
<input checked="" type="checkbox"/>	07	▼	01	▼	01	▼	まで

チェックは必ず入れてください。

使用方法〔4. データベース機能〕

2. データの削除

データベースの情報画面で、保存された不要なファイルを削除することができます。



データベース情報画面

- (1) データベース情報画面で削除したいデータにチェックを入れます。チェックは必ず入れてください。
- (2) “データ削除” ボタンをクリックするとチェックされたデータが削除されます。

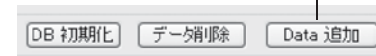
ご注意：データは一度削除されると復元できません。

使用方法〔4. データベース機能〕

3. データ追加

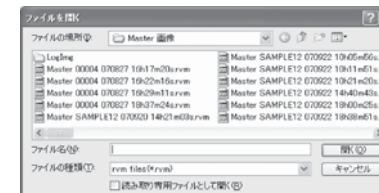
他のパソコンで保存しフラッシュメモリ等の記録メディアにコピーしたデータを追加することができます。

- (1) 記録メディアをパソコンに装着します。
- (2) “Data追加” ボタンをクリックします。

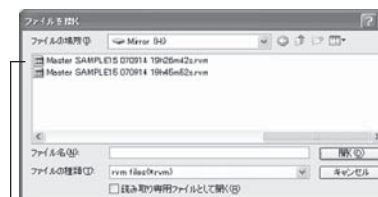


- (3) 下記画面が表示されます。

装着したメディアのファイルの場所を指定して“開く”ボタンをクリックしてください。



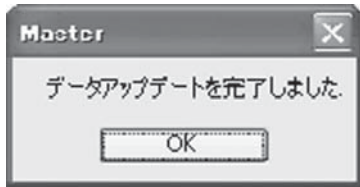
- (4) 記録メディアのデータを選択し、“開く”ボタンをクリックします。



データを選択

使用方法〔4. データベース機能〕

(5) 下記画面が出ます。

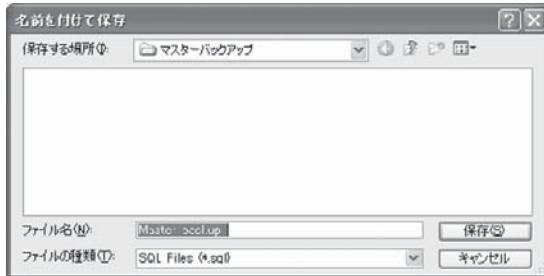


OK ボタンをクリックして完了です。
データベース表示画面に追加表示されます。

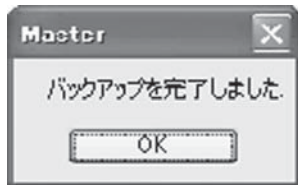
4. データのバックアップ

データベース情報をバックアップして保存する機能です。
バックアップは定期的(1 ヶ月に1 回程度)に行うことをお勧めします。

(1) メイン画面のメニューアイコンの“DB 保存” ボタンをクリックします。
下記画面が表示されます。



(2) “保存” ボタンをクリックします。自動的にバックアップファイルが生成され、下記画面が出ます。OK ボタンをクリックして完了です。



使用方法〔4. データベース機能〕

5. データの復元

バックアップしたデータベース、バックアップファイルを呼び出しする機能です。過去のデータを呼び出し、再生等ができます。

(1) メニューアイコンの“DB 復元” ボタンをクリックします。
(2) 保存されたバックアップデータのホルダーが開きます。



呼び出したファイルを選択して“開く” ボタンをクリックします。
(3) 下記画面が表示されます。



OK ボタンを押して完了です。

使用方法〔5. 運行記録〕

運行記録機能は車に装着後エンジンをかけてから停止するまでの運転者の運転記録がデータで保存されます。このとき、GPS 測位により車の速度、緯度、経度、事故当時または、急停止の時の映像を Log Data Viewer を通じて確認することができます。

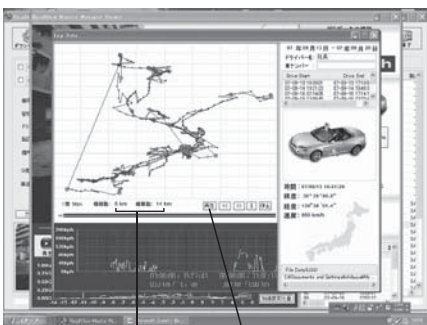
〈確認方法 1〉

①映像再生時に“運行記録”ボタンをクリックします。



運行記録ボタン

②運行記録画面が起動します。



移動範囲を確認できます

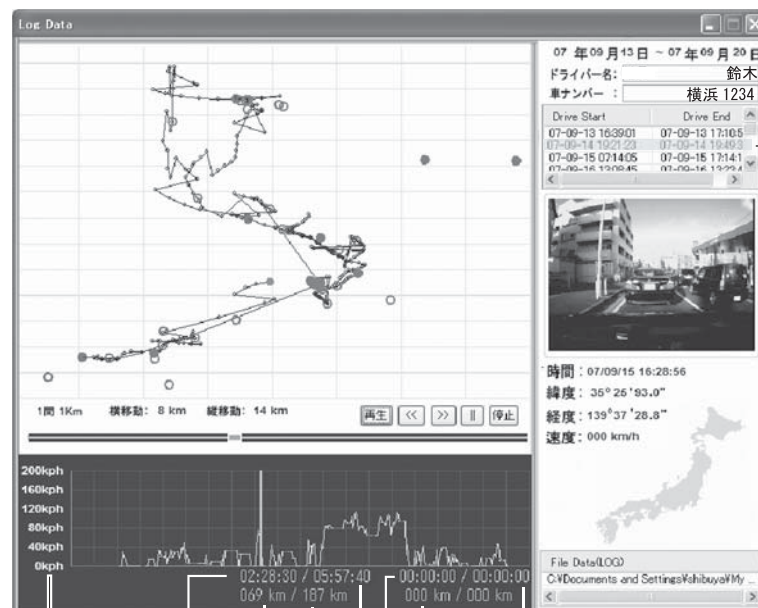
③再生ボタンをクリックします。

使用方法〔5. 運行記録〕

④移動の軌跡が表示され、10分に1枚自動的に保存された走行画面が表示されます。

(赤丸表示)

グレーの丸は衝撃等が起り、記録された地点を示します。



速度

経過時間

経過距離

走行総距離

走行総時間

指定した日付の経過時間

指定した日付の経過距離

指定した日付の総時間

総保存期間の記録

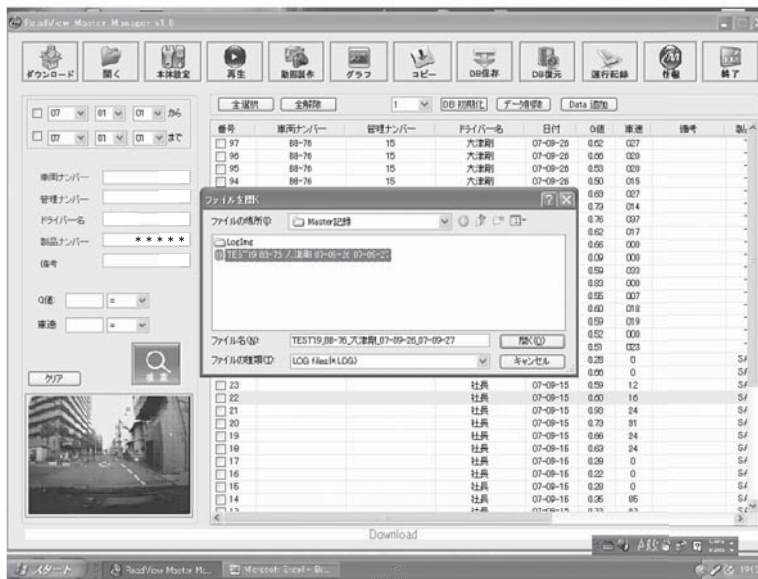
日付指定選択で確認

総保存期間

使用方法〔5. 運行記録〕

〈確認方法 2〉

- ①メイン画面メニューアイコンの“運行記録” ボタンをクリックします。
- ②ファイルを開くウインドウが表示されます。
ご注意：運行記録ボタンから起動する場合はデータベース保存が必要です。



- ③データを選択して“開く” ボタンを押します。
運行記録画面が出ます。

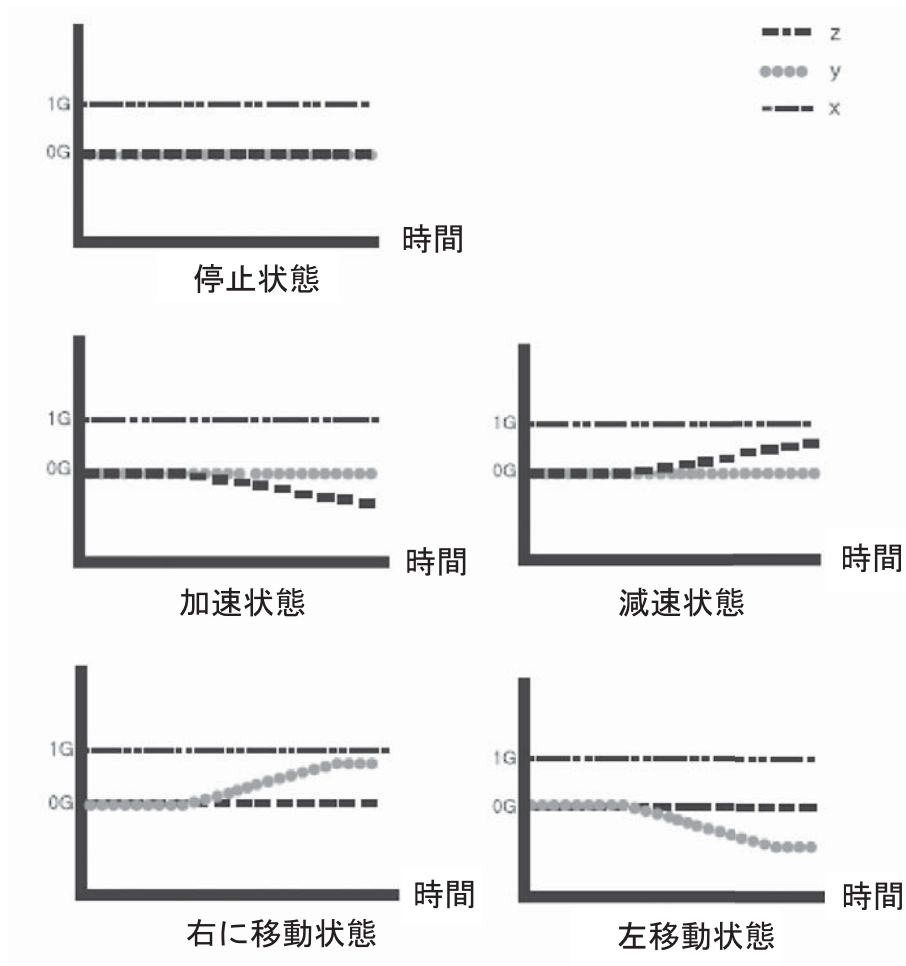
使用方法〔5. 運行記録〕



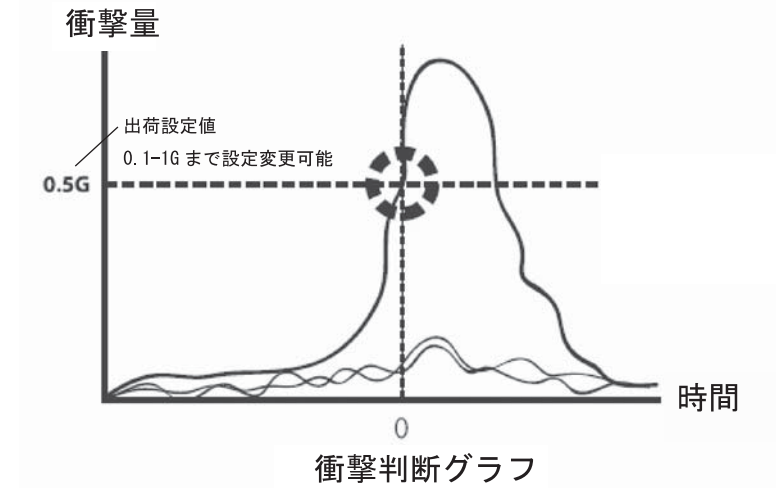
- ④以降は〈確認方法 1〉と同様です。

使用方法〔6. 解析例 〕

〈加速度データ〉



使用方法〔6. 解析例 〕



故障だと思う前に

故障と思う前に次のことを確認してください。

- 映像が保存されない場合・・・
 - ・製品に miniSD カードが装着されているか確認してください。
- 映像の品質が良くないとき
 - ・レンズの汚れがないか確認し、汚れている場合はめがね用等の布で拭いてください。
- 映像の視野が大きくズれている場合
 - ・本体が車両の前面を向いているか確認し、地面に垂直に固定した後、ねじで固定してください。
- POWER ランプが消えている場合
 - ・電源の配線等が正しか、また緩み等ないか確認してください。

主な仕様

電源電圧	DC12V/24V
最小稼働電圧	8V
最大稼働電圧	36V
最大消費電力	3W
作動温度	-20℃～+70℃
保存温度	-40℃～+85℃
映像保存数	25件（20秒の撮影で）
最低被写体照度	1 lux
レンズの角度	120 度(対角) (水平 96 度、垂直 72 度)
映像保存解像度	640 × 480
バックアップバッテリー	5.0 Volt (Ni-MH)
GPSアンテナ	外部
メモリーカード	Mini-SD カード (拡張可能)
大きさ	115×80×40 mm (突起部除く)
質量	約 200 g

※Microsoft、Windows Vista、Windows XPは、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

※その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

●保証規定

- 1.保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 2.保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
- 3.次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - (イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
 - (ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の異常電源(電圧、周波数)及びその他天災地変による故障および損傷。
 - (ニ)保証書のご提示がない場合。
 - (ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 4.本保証書は、日本国内において有効です。

■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書(本書に刷り込まれています)は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
 - 保証期間中は：
保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
 - 保証期間が過ぎているときは：
お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- あらかじめご承知いただきたいこと
 - ・修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただきますことがあります。また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご承知ください。
 - ・取り付け、取り外しにかかる諸費用はご購入店でご相談ください。弊社では一切負担致しません。
- 商品についてのお問い合わせは
マルハマサービス フリーダイヤル 0120-08-1114
携帯電話よりおかけの方は TEL 045-251-2687
営業時間:月～金 9:00～12:00/13:00～18:00(土日祝・当社指定日を除く)

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず本保証書を提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。発送にかかる諸費用はお客様にてご負担願います。

※印欄に記入がない場合は、無効となりますので、お買い上げ時に必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	車両事故記録カメラ Road View Master DR-969RV	
	※ お買い上げ年月日	1 年 間
保証期間	年 月 日から	
※お客様	住所	〒 電話
	氏名	様
※販売店	氏名	印
	住所	〒 電話

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4丁目43番地4